

## 児童が特産のブロッコリーを収穫体験

発生年月日：2022/12/8、12/12、12/13

執筆者名：高橋 秀彰

センター名：西讃農業改良普及センター

部門分類：総括

活動分類：食農業教育・食育

公開：公開

備考：

本文

1)管内では、秋から春にかけて収穫されるブロッコリーが約420ha(令和4年度産)作付けされており、全国有数のブロッコリー産地となっています。

2)12月8日に比地大小学校1年生14名、12日に上高野小学校1年生13名、13日に桑山小学校3年生13名が学校周辺のブロッコリーほ場で収穫体験をしました。

収穫体験では、普及センターからブロッコリーの生産状況や栄養価などについて、また、JAからは収穫の仕方や注意点を説明した後、児童と指導者が1組となってほ場の中に入りました。

児童は、選んだ株の茎が見えるように葉を折った後、花蕾を片手で押さえながら、反対の手でナイフを持って丁寧に収穫しました。

3)児童からは、「楽しかった。葉っぱを折った時にポキッと音がして気持ち良かった」などの感想や「緑色以外のブロッコリーはあるのですか」、「ビタミンCはどこから来るのですか」、「うどんに入れることができますか」などの質問があり、ブロッコリーや農業への興味が深まる有意義な体験となりました。

4)今回、収穫した約100kgのブロッコリーは、収穫の翌日又は翌々日の給食食材として納品され、「冬野菜カレー」などに調理して提供されました。1月には、三豊市豊中町の他の小学校でもブロッコリーの収穫体験を予定しています。

5)普及センターでは、今後も関係機関と連携し、小中学校での出前授業や農作業体験などの食育活動を支援します。



比地大小学校1年生



上高野小学校1年生



桑山小学校3年生